Be Positive!!

つながる通信

福導センターで虐待の話を聞いて・・・ もっと聞きたい、知らないでは済まされない!!

☆青少年補導センターに関する出前講座☆

虐待の現状

- *相談件数が急激に増え、5年で5倍に!-
- *保護施設には受け入れの余裕がなく、 現状維持となってしまう場合もある。
- * 虐待に気付いても、 通告しにくい… etc

実際に発生件数も増加しているのに加えて、 虐待防止法が制定され、学校に通告義務が 生じたことも原因の一つです。

現状改善のためには施設の機能充実が必要 です。

また、虐待発生の原因をなくす支援も大切! たとえば、親のストレス軽減、子育て支援など。

"通告"という言葉には抵抗感がありますが…まず "相談" することが問題解決への第一歩です!

☆参加者の意見☆

- ・専門家や府、市町村等の行政と、身近な地域との連携、 役割分担が必要だと思いました。
- ・虐待をなくすための活動をしている団体は多くあるので、そうした団体の相互協力により、現状がより良い方向へ 向かうのではないかと思いました。
- ・虐待は家庭内の問題ではありますが、第三者がその家庭 と関わり続け、信頼関係を築き、アプローチしていくこ とが虐待の抑止力となり得ると思いました。

私たち学生にもできることがある!!

非行、不登校、虐待、家庭の問題に悩む子どもたちに派遣される学生ボランティア"ジュニアメイト"になって、小中学校の子どもの支えとなることができます!!

☆マニフェスト研究会☆

8月28日に、他の議員インターン生と共同でマニフェスト研究イベントを開催し、学生の視点から、自分たちのマニフェストを作成すると共に、マニフェストの理想の在り方についても考えました。 その一部を紹介します。

- <わかりやすさ>専門用語を少なく
- <見やすさ>もっとシンプルに
- <おもしろさ>興味・関心をひくような広報
- <手軽さ>誰もが手にできるように



マニフェスト勉強会





いんたーんしっぷ

やすえしょうへい

安江祥平

かまもとあずさ 釜 本 梓

開西大学法学部 1 回生

夏休みに、何かしたいというような気軽な気持ちで参加 したインターンでしたが私が苦手だった人前でしゃべる 事など、自分自身も成長できたと思います。政治は全く 無知でしたが、市民の為に、本当に細かく、朝早くから 夜遅くまで活動している議員がいると知り、感動、驚き の毎日でした。2ヶ月、4人のインターン生と協力して、 1つの事を成しとげた事は大きな自信になりました。 これから様々な場でこの経験をいかして頑張りたいです

たなべともか **田辺友佳**

京都大学教育学部 2 回生

社会とは、いったいどのようなものなのだろう?いったいそこで自分に何ができるのだろう?漠然とそういうことが知りたくて参加したインターンシップ。様々なことを経験しました。朝の駅での通信配り・街頭演説・教育施設の見学etc…。またそのような活動に参加するにあたり、議員も始め様々な人との出逢いがありました。当たり前のことなんだけれど、社会には、いろいろな人の動きがあって、いろいろな考えもあふれていてとてもおもしろいな、と感じました。この夏の経験も人との出逢いも全て、自分にとって大切な蓄えになりました。



大阪大学理学部 2 回生

将来のことを考えると今のうちに社会常識を身につけなければならないと思い、参加を決めました。初めは、知識がなくても大丈夫なのだろうかという不安を抱いていましたが、神原議員は未熟な私にも優しく教えてくれました。実に多くの迷惑をかけましたが、仲間の支えもあって、なんとか活動をやりきることができました。そして、この2か月を通して議員という職業に尊敬と、憧れを覚えました。本当に多くのことが学べ、参加してよかったと思っています。

すずきあつこ 鈴木昌子

大阪大学法学部 1 回生

「大学1回の夏休み…せっかくだから何かをしたい!」という思いと政治に対する関心からこのインターンシップに参加しました。神原議員のもとでの活動を通して、普段見ることができない市政の現場を見ることができたのはもちろん、その他にも、街頭演説やイベント企画等を通して、今までの消極的な自分に変化をもたらす多くの経験をすることができました。インターンシップ活動を通して得たものを大切に、積極的な姿勢を持ちつづけ、これからも様々なことに取り組んでいきたいです。

2か月という短い期間でしたが、インターン活動を通して、見たこと、聞いたこと、行なったこと、その一つ一つが、今後の人生の糧となってくれたら、とても嬉しいです。

私自身も、インターン生から、様々な刺激や感動、 気づきを与えてもらった気がします。